



教育関係者・事業者部門
《教育等関係者》

消費・安全局長賞

岸田学園 行田幼稚園

(埼玉県) 活動期間 8年

栽培活動を通して行う発達段階に応じた食育の展開

年間指導計画で体験活動

園内に「子供農園」を作り、年少組は枝豆、年中組はポップコーン、年長組は稲の栽培を年間指導計画の中に位置づけて計画的に実施しています。地域農家や父母会の協力で、収穫したじゃがいもでのカレーパーティー、かかし作り、脱穀・粳摺り・精米から餅つき会、栗ごはん会食等、様々な体験活動を通じて食を大切にする心を育てています。



稲の栽培体験

教育活動を通じての食育

農作物の観察は、園生活の日常で行われており、生長の過程を身近に感じることで収穫までの喜びはさらに大きなものになります。また、自然〇×ゲームで野菜の旬や、お米のできるまでの過程、土の中の野菜、土の上になる野菜を理解します。クリスマス会の劇「もったいないお化け」発表では、お米・野菜農家が登場し、好き嫌いをなくしてしっかり食べることの重要性を感じていきます。



育てた枝豆おいしいね！

発達段階に応じた体験活動

幼児教育は環境・健康・言葉・社会性・表現の5分野で展開しますが、栽培を通じた食育活動にはその全てが含まれており、発達段階を考慮した題材を選び、種まきから収穫そして喫食までの知識の習得や体験から、「命の尊重」「思いやり」「大自然の不思議さ」「働く大切さ」の意識を持てるようになります。



粳摺り大変でした



ポップコーンができたよ！

このたび消費・安全局長賞という大変名誉な賞を頂戴したことを胸に、食育を通じて子供たちの健やかな心と体の成長を助けられるよう益々活動に力を入れていく所存です。



(学)岸田学園 行田幼稚園 理事長
岸田 昌久